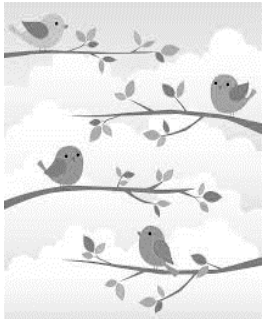
Childcare Network PICCOLO

ピッコロ通信

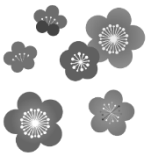
No.156
2020.3.2

〒204-0021 東京都清瀬市元町 2-18-10　1 階
☎090－8304－1076　Fax042－444－4546
https://www.piccolonet.org/



庭先の木々の葉が萌え
梅の花が咲き 桜のつぼみもふくらみ始めました

今年は少し早めの春のおとずれ
小鳥たちも忙しくなってきました



【コロナウイルス関連について】さまざまな研修などの集会が中止になっております。元町・竹丘つどいの広場、K-net 子育てひろばでは飲食が中止になっております。楽しみにしてくださっている皆さん、今しばらくご協力ください。今後の対応については、HP でもご案内いたします。

みんなピッコロが好き

理事 工藤 宏子

ピッコロとの出会いは、小俣さんをお見かけし、一緒にいた知り合いから子育て支援の団体を作るらしいと聞いたことに始まります。次の機会は、清瀬小児病院（2010 年に閉院しました）に入院する子どもたちの兄弟のために、無償で、ピッコロの方が保育してくださるという話が出てきたときでした。当時私は、心理相談員として勤務していて、病児の保護者の方が「面会には来たいが、病棟に入れない兄弟姉妹の対応に困る。」とよく話していて、この活動が始まったことは、本当に病院としてはありがたい活動でした。当時の病院は、建物も老朽化しており、夕方になるとなお一層うら寂しくなるような雰囲気でしたが、外来の待合室で、ピッコロのはつらつとしたおばさま方が、子どもをおんぶしたり手を引いたりしながら、子どもたちの相手をしてくださったりしていました。病院にこんなサービスがあるなんて思いもよらなかったという、感謝の話を大勢の方から聞いていました。ピッコロの会員のボランティア精神には頭が下がると思ったものでした。その後、小俣さんとのご縁もあって、気がつけば理事になり、もう 10 数年間、続けさせていただいております。

先日、正会員のワークに参加させていただきました。今回の企画は、ピッコロの活動を一人一人がプレゼンできるようになること、という課題でした。理事会の資料、事務局の会議録を見ておりましたが、ピッコロの活動をはて？人に説明できるほどのことできるかしらと不安になりました。でもそのあと、各グループで事業の説明の段、皆さんの生き生きしたピッコロの事業の説明で、あらためてピッコロの繰り広げてきた事業の内容、現場の細かい配慮など知ることができました。ピッコロの活動の詳細をあらためて知り、感動しました。今後ともみなさまと一緒に、ピッコロの活動を支援していきたいと思いました。あらためてよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

更新手続きの時期のため、通信に同封されている案内を確認し、必要な手続きをお願いいたします。

熱い思いが語られた…正会員勉強会の報告

副理事長　牧野靖子

1月31日の夜、正会員31名出席の勉強会が行われました。今回は、NPOなどの立ち上げ支援などを行っている山根眞知子さんを講師に迎え、ピッコロの活動をあらためて考える機会となりました。正会員は活動を担ってくださるだけではなく、一緒に会の運営を考える立場の方です。理事も一緒になって学ぶ場は、会を支えてくれる支援者と理事がもっと近い存在になって欲しい、支援者がどんな思いで活動しているかを知って欲しいという思いがありました。

本通信トップページの工藤理事のご挨拶にあるように、最初はピッコロの行っている事業を市民に説明しようというテーマで5つのグループでワークをし、グループ発表が終わった後に、①「ピッコロの会員として継続している理由」②「ピッコロにすぐにして欲しいこと・夢」を参加者が記入して終了となったので、ここで皆さんに一部お伝えしたいと思います。

① 誰でも子育て時期は大変、辛く、孤独だから微力ながら手伝いたい。空いている時間にできる支援もある。自分が子育てのために夢を諦めたので、同じような女性が少しでも少なくなるよう。共に喜び共に笑顔になれるしあわせな時間。やりがいがあり仲間がいる。

② ピッコロの初心、信条をしっかりとらえて民主的にまずは同心、(もちろん、支援する方々だけにでも）隣の人にいつも愛ある仲間のピッコロ・今一度振り返って支援者やコーディネーターも大事にするために見直すことがユーザーのしあわせにつながる・人を大切に・支援者が笑顔で活動できる・子育て中のママとママに関わる人の笑顔が増える❤️

どの子もみんな一緒　～子どもを学ぶ講座に参加して～

清瀬市男女共同参画センターが主体となっている「清瀬市ソーシャルネットワーク･ラボ」会議に市内で活動している市民が話し合って企画した“子どもとかかわる大人のためのシリーズ「子どもを学ぶ」”の講座が始まっている。

その講座は、児童養護施設子供の家施設長、発達支援サークル代表、移住民と連携する全国ネットワーク、子ども食堂連絡会代表、ウイズアイ事務局長、ピッコロ理事長、弁護士（LGBT支援）など地域で活動している方が講師になり、7つのテーマについて日にちを変えて行った。ピッコロ支援者も地域で活動をしている一人として積極的に参加した。

2/8「子どもと発達障害」をテーマに長坂有里子さん（発達支援サークル で・こぼ）のお話を聞いた。発達障害という言葉はあちらこちらで聞くようになった。しかし、ちょっと変わっていると「発達障害ではないか」という言葉がいじめに結びついているケースもあり、傷ついている人もいることを知っておく必要があるという。

自身の子どもと行った東北の水族館の受付で、記名する場面があり名前の書けない子どもが戸惑っていたとき、「本当の名前を書いてとどこにも書いていないよ。何でもいいんだよ。君がここに来てくれたこと、それが一番なんだよ。」とスタッフのおじさんが言ってくれたという体験。また、他にも学校の授業で教室にいられず飛び出してしまう探究心あふれた子どももいるから、それは止めないで欲しい。探究心を活かす仕事もあるんだから、特性を活かす見守りが必要だ。地域の中で手を差し伸べられる温かい話の一方、子どものクレームで悩む母親や子どもの特性に苦しみ虐待してしまう親の話もあった。

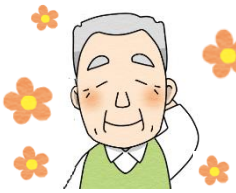
「発達障害は、その子どもが社会参加などする際に障壁となってしまうことも多く、社会参加への障がいであると考えます。しかし、安心･安全な場所で学ぶことができた時、プラスの特性を大きく伸ばすことが叶えられる障害でもあると考えています。その子の持つ特性は、育ちにくさや育てにくさを与えてしまうことにもなるが、大切に守り育てたときには、その子の人生をより豊かに変化させるスパイスになるものだということを知ってほしい。みんな一緒のみんな一斉の日本の学校が変わる必要があります。」と有坂さんは話す。

大人でも子どもでもそれぞれの人格を尊重して接するという基本的な姿勢がとても大切という思いを深くした。

み・ん・なの広場

人生の大先輩 ～介護サポート･ピッコロの活動から～

支援者　齊藤しのぶさん



「ピンポーン」

「はーい。」利用者の方の元気な声が聞こえてきます。

「どうぞお入りください。」と、私のことを子どものような人なつっこいお顔で迎えてくれます。利用者の方のところへ伺うようになって２年が経ちます。依頼の内容は、お掃除とお話し相手（お話しを聞く）などです。月２回、２時間ずつの活動をしています。

「齊藤さんが来るから掃除をしておいたんだよ。」と、私が掃除する前にもうきれいにされているんです。

「人が来るんだからさぁ～。」と笑顔。そして違うところを一緒に片付けていると、「二人でやるとなんでこんなに早いんだろうなぁ。」と必ずおっしゃいます。とっても嬉しそうです。一段落して、今度は利用者の方から面白い話…昔の学校の話、兄弟の話、大河ドラマの話…たくさんのお話があふれてきます。昔を懐かしむようなお顔をして自分の歩んできた道を話してくれることもあり、人生の大先輩として姿勢を正すこともあります。

私は訪問をして依頼内容をするだけではなく、利用者の方と過ごす温かい時間を大事にしていきたいと思います。

子どもの笑顔が一番!!

利用者　Y.O さん

「このゴミ屋敷に人様は呼べない」「実際に利用するまでの手続きが面倒」など、ホームスタートのネガティブな面ばかりを考え、制度を知っていても利用なんて考えたこともありませんでした。でも、年長になっても毎日保育園をしぶる長男、毎日何故か夜中に１～2 時間発狂する長女。大きくなったら楽になると思っていたのに、しんどくなる一方の育児。増える一方の仕事。ワンオペの育児は母子ともどもいろんな意味で限界を迎えました。そんなとき、私のオアシスであるつどいの広場のアドバイザーの方から、ホームスタートの利用を勧められました。

「面接とか面倒だな」「でも、もう何かを変えないとどうしようもないな」というのが本音でした。また、「周りは母親だけで上手に育児をやっているのに、他人の手を借りないと生活が出来ないダメな母親」。そんな劣等感もあったから、積極的にホームスタートを利用しなかったのではないかと今となっては思います。

「もう帰っちゃうの？」「今度はいつきてくれる？」ホームビジターさんが帰るときに、子どもたちは必ずそう言います。たまに、ビジターさんが帰るときに泣いてます……。ビジターさんが帰れないようにいつまでも話しかけているときもあります。子どもへのイライラが減り、私へも寄り添ってくれるビジターさんとの時間は我々母子の貴重な財産です。

「もっと早く利用すれば良かった」「なんでみんな利用しないんだろ？」今となってはそう思います。子どもたちも私もこんなに幸せになれて、たった２時間なのになんだか満たされます。

コーディネーターさんとの自宅での面談。汚い我が家に招きいれるのも、日程をあわせるのも不器用な私にとっては大変です。でも、コーディネーターさんと話すことで、自分の育児への思いを再確認できます。完璧なんて程遠いですが、子どもたちのためにできることは一つでも多くしてあげたいです。私はダメな母親ですが、「人様が力を貸してくれるなら、そこに甘えればいっか」「子どもが笑ってくれることが一番」と、思えるようになった今日この頃です。

***(担当コーディネーターより)**ゴミ屋敷とか駄目な母親ということはなく、本当にお子さんの事を大切に考えているＹさんです。ホームスタートを大切に子育てに利用していただけて良かったです。*

《会員状況 2019.2.29 現在》正会員 65 名・準会員 129 名・賛助会員 15 名（個人 12 名・法人３名）

◇3,000 円以上寄付者・27 名◇

＊＊

❤賛助会員❤

法人会員　新鮮こだわり中国料理 同心居　　(株)関工務店　　●スガハラ印刷

＊NPO の活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にぽち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただけると嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】ゆうちょ銀行【口座名】子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】00190-6-602187

○ピッコロ　△K-ｎｅｔ、つどいの広場　◆ファミサポ　HS＝ホームスタート　HV＝ホームビジター

１月～２月の動き

1/6(月)　△K-net 運営会議
　△つどいの広場調整会議

1/7(火)　○定例会

1/8(水)　◆サブ/アド調整会議

1/10(金)△K-net 子育てひろば
　HS ホームスタート東京協議会話し合い

1/11(土)○ルーム職員会議

1/14(火)◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)

1/20(月)△K-net リフレッシュ講座

1/23(木)○ルーム　ジャンベ演奏会

1/29(木)○DDユニットスキルアップ研修会

1/31(金)○正会員勉強会

2/1(土)　○ルーム職員会議

2/3(月)　△K-net 運営会議
　△つどいの広場調整会議

2/5(水)　◆サブ/アド調整会議

2/7(金)　○宮崎県医師会視察

2/14(金)△K-net 子育てひろば

2/16(日)○NPO 法人保育サービスぽてと(練馬)
　20 周年記念イベント出席

2/17(月)◆第２回スキルアップ研修会

2/18(火)◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)
　○女子医大スキルアップ研修会

2/27(木)○社労士話し合い

2/28(金)○ピッコロ新年度打合せ

2/29(土)○ルーム職員会議・新年度準備

― これからの活動予定 ―

3/2(月)13:00～△つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)

3/3(火)10:00～○定例会(アイレック会議室)

3/4(水)9:15～　◆サブ/アド調整会議(事務所)
　10:30～　△K-net 運営会議(事務所)
　14:00～　○清瀬ソーシャル・ネットワーク・ラボ(アイレック)

3/5(木)・3/12(木)13:00～　**コロナウイルス関連のため、中止**
　○介護サポート提供会員養成講座(けやきホール会議室)

3/9(月)10:00～　△K-net サポーター養成講座(ころぽっくる会議室)

3/10(火)13:00～◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)

3/12(木)16:00～HS トラスティ会議(ピッコロ事務所)

3/13(金)10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室)

3/14(土)9:00～　○ルーム職員会議・研修

3/16(月)14:30～○責任者会議(事務所)

3/26(木)14:00～HS 東京ビジターデー打合せ
　18:30～○第 55 回理事会(事務所)

3/28(土)9:00～　○ルーム職員会議(事務所)/新年度準備

3/30(月)18:30～○ピッコロルーム運営会議(事務所)

4/1(水)9:00～　○新入園児入園

4/3(金)10:00～　○正会員のつどい(けやきホール第３会議室)

4/6(月) 9:15～　◆サブ/アド調整会議(事務所)
　10:30～　△K-net 運営会議(事務所)
　13:00～　△つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)

4/10(金)10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室)

5/10(日)13:00～2019 年度監査(事務所)
6/13(土)15:30～第 17 回定期総会

《編集後記》

保育で久しぶりに元町のつどいの広場へ行った。「こんにちは」と声をかけながら入っていくと、アドバイザーさんがすぐにこちらへ笑顔を見せて迎え入れてくれた。

二歳の保育の子どもは、いろんなおもちゃに興味を示し、追いついていけないくらい移動し回る。時には、友だちが使っているおもちゃを取ってしまい、「お友達が使っているよ」と伝えるも、すぐには分かってもらえない場面で、「どうぞ」と相手のママさんから譲ってもらえた。「ちょうど、そういう時期ですよね。うちもそういうことがありました。」と言ってもらえ、ほっと胸をなで下ろす。

後半、少し慣れたのか引き車を引いて散歩している子と手をつないで笑顔をみせてくれた。手をつないでくれた子も少し緊張しているものの得意そうな様子。

ほんの二時間だったが、広場を利用する方々が、アドバイザーだけでなく、他のママさんたちからいただいた一言や見守りがどんなに力を得ることだろうと感じた。

アドバイザーさんたちの日々のお仕事にも感謝してつどいの広場を後にした。

正会員の勉強会で得た何かを変えようとすること。目の前の課題についてきちんと向きあい、年度末を閉めたい。